

2019年6月28日

各 位

株式会社三十三フィナンシャルグループ

## 「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」にかかる KPI の公表について

株式会社三十三フィナンシャルグループ(代表取締役社長 渡辺 三憲)は、お客さまの安定的な資産形成に資する金融商品・サービスの提供を実現するため、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」(以下、「基本方針」といいます。)を制定・公表しておりますが、今般、「基本方針」にかかる KPI の2018年度の実績を公表しましたので、お知らせいたします。

従来 of KPI に加えて、金融庁が公表する「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」(以下、「共通 KPI」)についても併せて公表しております。

今後も引き続き「お客さま本位の業務運営」を実践し、お客さまのご要望に幅広くお応えできるよう、商品・サービスの品質向上に努めてまいります。

## 記

### 1. 公表する「共通 KPI」

- (1) 投資信託の運用損益別顧客比率
- (2) 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン
- (3) 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

### 2. KPI の内容

別紙をご参照ください。

### 3. その他

「基本方針」および「KPI」については、当社および三重銀行、第三銀行のホームページに掲載しております。

【URL】[https://www.33fg.co.jp/fd\\_kihonhoshin.html](https://www.33fg.co.jp/fd_kihonhoshin.html)

以 上

[お問い合わせ先]

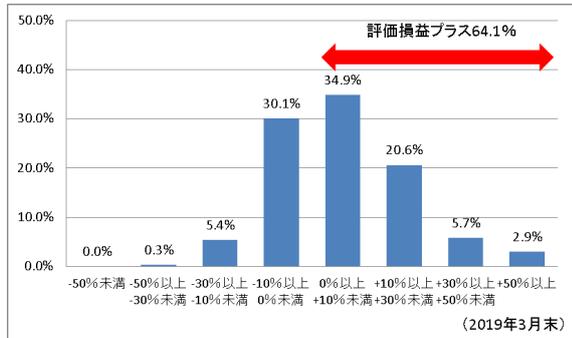
担 当	三重銀行 営業企画部	櫻 井	059-354-7302
	第三銀行 営業推進部	矢 田	0598-25-0353

# 三重銀行 2018 年度の取組み

## 共通KPI

### < 投資信託の運用損益別顧客比率 >

お客さまにご購入いただいた投資信託の運用損益状況について、損益別のお客さまの比率をお示しています。投資信託の運用損益がプラスのお客さまは、全体の 64.1%となっております。

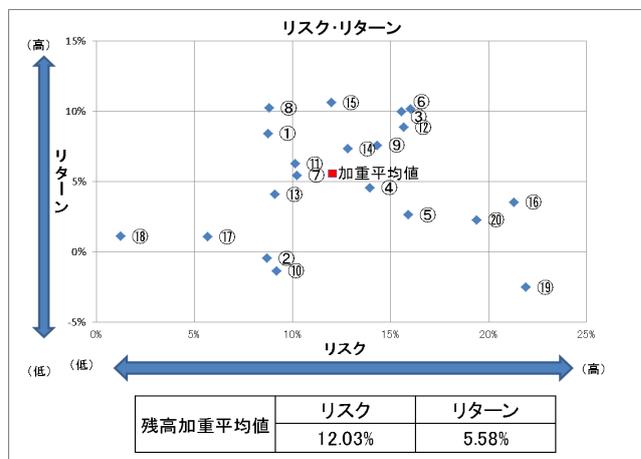
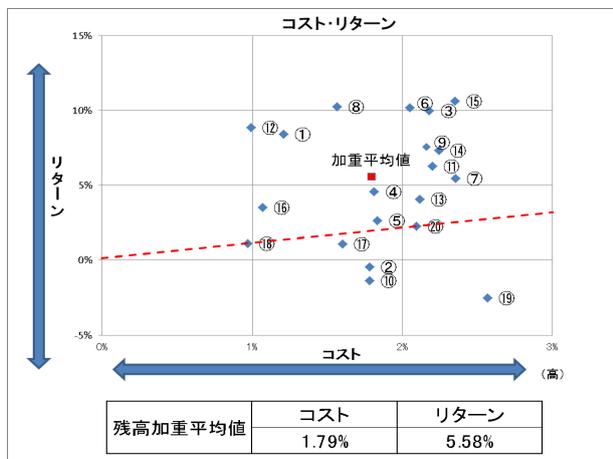


当行ではファンドラップの取扱いはありません。

### < 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン >

お客さまにご購入いただいた投資信託の残高上位20銘柄について、コストに対するリターン、リスクに対するリターンをお示しています。

20銘柄中、16銘柄でリターンがコストを上回っております。リスク・リターンに関してはばらつきがありますが、お客さまのニーズやリスク許容度、資金の性格等を踏まえた提案を行ってまいりました。



本共通KPIは、金融庁が公表した基準に基づき算出しております。

【対象銘柄】設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄(2019年3月末時点/対象銘柄は下に記載)

【コスト】基準日時点の販売手数料率(税込)の1/5と信託報酬率(同左)の合計値

【リスク】過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算) 【リターン】過去5年間のトータルリターン(年率換算)

ファンド名	コスト (%)	リスク (%)	リターン (%)	ファンド名	コスト (%)	リスク (%)	リターン (%)
ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	1.21	8.76	8.41	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	2.20	10.16	6.26
ハイグレート・オメガ・ボンド・オープン(毎月分配型) [咨の案]	1.78	8.72	0.46	ストックインデックスファンド225	0.99	15.69	8.85
ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)コース(為替ヘッジなし)	2.18	15.56	9.96	フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)	2.12	9.12	4.07
グローバル好配当株オープン	1.81	13.94	4.56	DIAMワールド・リート・イクサム・オープン(毎月決算コース) [世界家主倶楽部]	2.25	12.84	7.32
ニッセイ豪州ハイ・イクサム株式ファンド(毎月決算型) [ラッキー・カントリー]	1.84	15.92	2.63	アジア好利回りリート・ファンド	2.35	12.00	10.62
フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	2.05	16.02	10.18	トヨタグループ株式ファンド	1.07	21.30	3.52
フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.35	10.23	5.44	トレンド・アロケーション・オープン	1.60	5.69	1.07
フィデリティ・リート・アクティブ・ファンド	1.57	8.81	10.24	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	0.97	1.25	1.11
ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	2.16	14.34	7.57	北米エネルギーファンド(毎月決算型)	2.57	21.92	2.53
ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月分配型)	1.78	9.20	1.37	ブラジル・ボンド・オープン(毎月決算型)	2.10	19.39	2.27

## 自主的なKPI

お客さまの多様なニーズにお応えできるよう、ラインナップの充実を図っております。

カテゴリー		取扱い本数
国内	債券	5
	株式	15
	REIT	3
	その他	0
海外	債券	38
	先進国	22
	新興国	9
	ハイイールド	7
	株式	41
	先進国	35
	新興国	6
REIT	12	
バランス		17
その他		4
合計		135

うちノーロードファンド36本

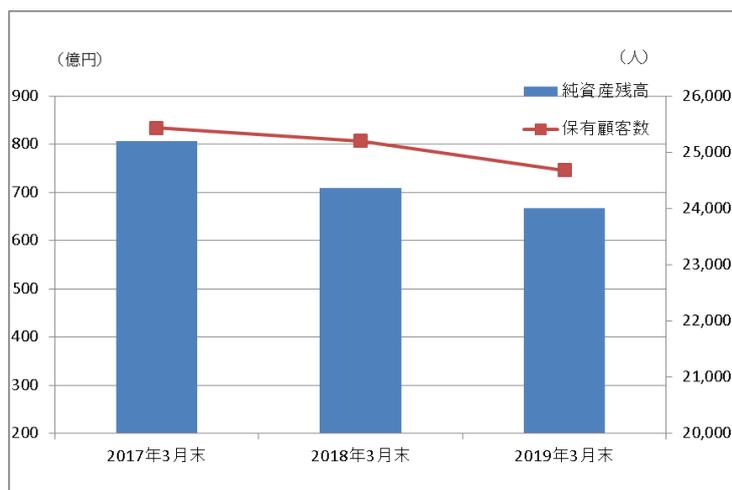
カテゴリー		取扱い本数
変額個人年金保険	うち円貨	2
	うち外貨	0
	うち外貨	2
定額個人年金保険		7
一時払終身保険	うち円貨	2
	うち外貨	5
	うち外貨	16
平準払終身保険	うち円貨	6
	うち外貨	10
	うち外貨	7
平準払終身保険		7
うち円貨		5
うち外貨		2
養老保険		1
医療保険		8
がん保険		1
収入保障保険、定期保険		2
合計		44

個人向けのみ

### < 投資信託純資産残高・保有顧客数 >

お客さまの安定的な資産形成のお役に立てるよう投資信託のご提案に取り組んでおりますが、2019年3月末については、純資産残高・保有顧客数ともに減少となりました。

「お客さま本位」の取組を通じてお客さまにご満足いただくことで、お客さまにお選びいただける銀行になれるよう努めてまいります。



### <販売額上位ファンド>

毎月分配の長所短所を説明し、お客さまのニーズに適った投資信託を提案することにより、毎月分配型以外の商品の比率が増加しました。

順位	2018年度実績	分配頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
1	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	毎月	2.0%
2	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	毎月	3.0%
3	ストックインデックスファンド225	年1回	2.0%
4	トヨタグループ株式ファンド	年1回	1.5%
5	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	毎月	2.5%
6	グローバル・フィンテック株式ファンド(年2回決算型)	年2回	3.0%
7	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	年2回	3.0%
8	eMAXIS 日経225インデックス	年1回	ノーロード
9	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	年1回	3.0%
10	グローバルAIファンド	年1回	3.0%

順位	[参考]2017年度実績	分配頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
1	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	年2回	3.0%
2	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	毎月	3.0%
3	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	毎月	3.0%
4	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	毎月	2.0%
5	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	毎月	2.5%
6	アジア好利リリート・ファンド	毎月	2.5%
7	バインブリッジ米国ライジングスター好利回り債券ファンド2018-02	年4回	2.0%
8	フィデリティ・リリート・アクティブ・ファンド	毎月	2.5%
9	トヨタグループ株式ファンド	年1回	1.5%
10	トレンド・アロケーション・オープン	年1回	2.0%

### <積立投資信託申込件数上位ファンド>

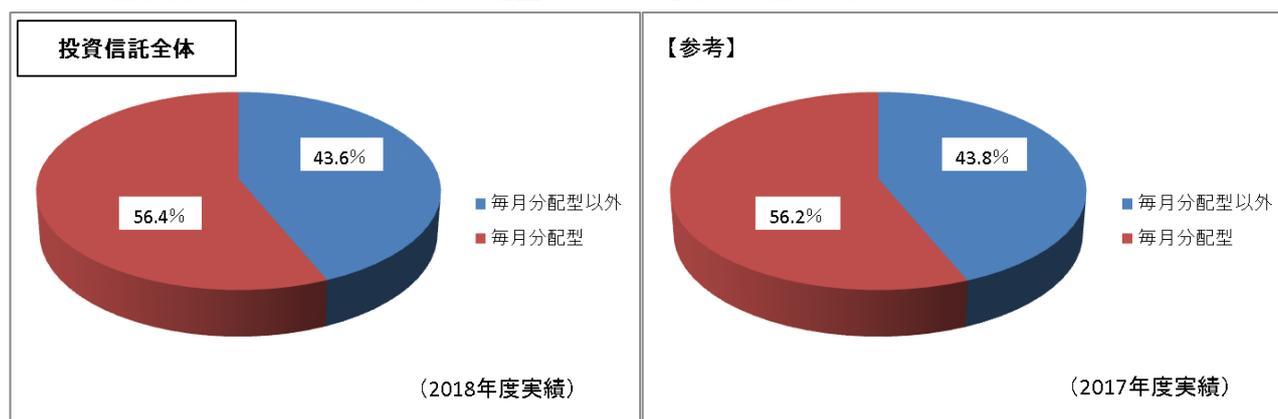
低コスト商品による長期積立分散投資推進により、インデックス型ノーロード商品の申込が増加しました。

順位	2018年度実績	分配頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
1	ストックインデックスファンド225	年1回	2.0%
2	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	毎月	2.0%
3	[つみたてNISA専用]SMT 日経225インデックス・オープン	年1回	ノーロード
4	トレンド・アロケーション・オープン	年1回	2.0%
5	[つみたてNISA専用]SMT 8資産インデックスバランス・オープン	年1回	ノーロード
6	トヨタグループ株式ファンド	年1回	1.5%
7	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	年1回	3.0%
8	[つみたてNISA専用]SMT グローバル株式インデックス・オープン	年1回	ノーロード
9	eMAXIS 日経225インデックス	年1回	ノーロード
10	[つみたてNISA専用]SMT 世界経済インデックス・オープン	年1回	ノーロード

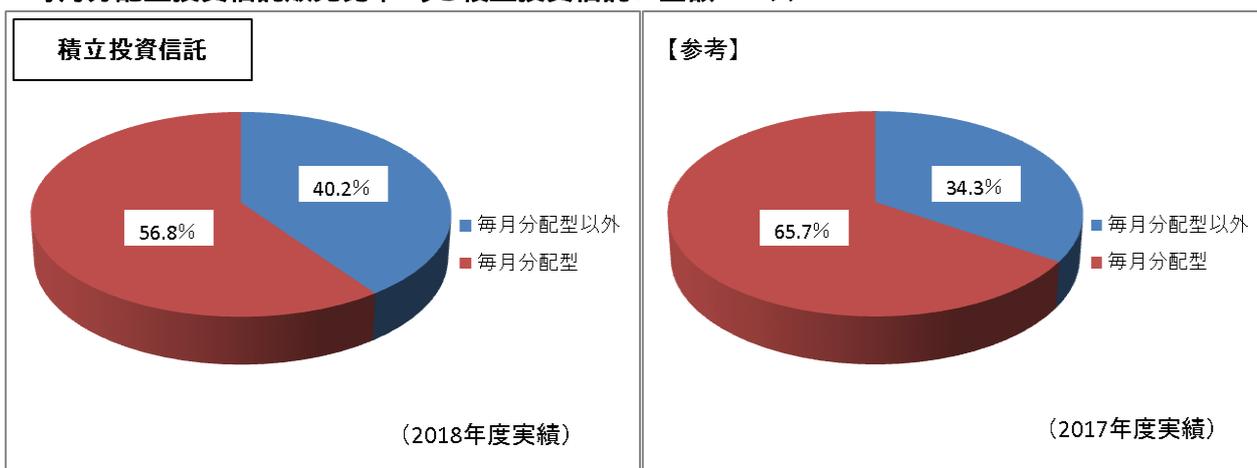
順位	[参考]2017年度実績	分配頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
1	トレンド・アロケーション・オープン	年1回	2.0%
2	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	年1回	3.0%
3	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	年2回	3.0%
4	ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)	毎月	2.0%
5	GSグローバル・ビッグデータ投資戦略Bコース(為替ヘッジなし)	年1回	3.0%
6	ストックインデックスファンド225	年1回	2.0%
7	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	毎月	2.5%
8	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	毎月	3.0%
9	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	毎月	3.0%
10	トヨタグループ株式ファンド	年1回	1.5%

### <毎月分配型投資信託販売比率(金額ベース)>

販売額上位2銘柄が毎月分配型となったことにより、毎月分配型投資信託販売比率は横ばいにとどまりました。積立投資信託については、毎月分配型以外の販売比率が上昇しました。

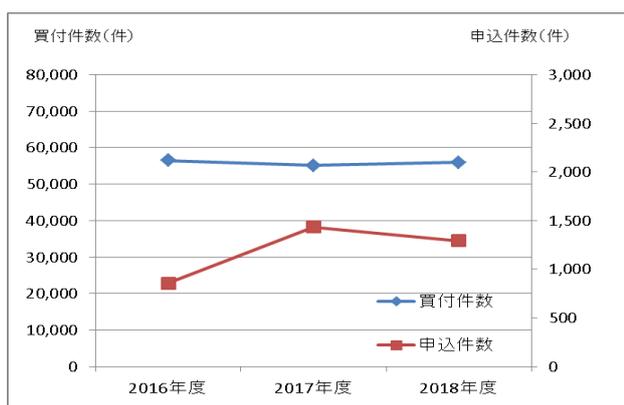


### < 毎月分配型投資信託販売比率 うち積立投資信託 / 金額ベース >



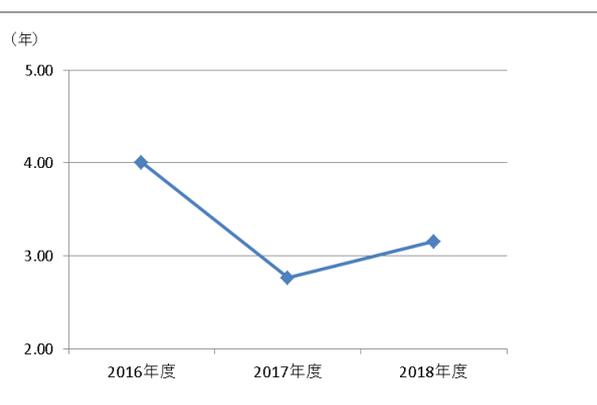
### < 積立投資信託 買付件数 / 申込件数 >

長期積立分散投資の推奨により、積立投資信託の買付件数は高水準を保っております。



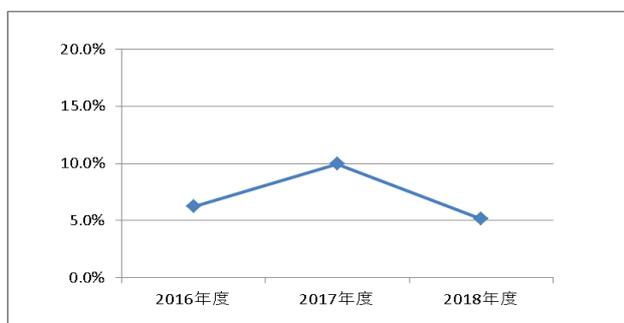
### < 投資信託平均保有期間 >

「投資信託純資産平均残高 ÷ 解約額」にて算出しています。中長期の投資推奨により、投資信託平均保有期間は2.7年から3.2年に改善しております。



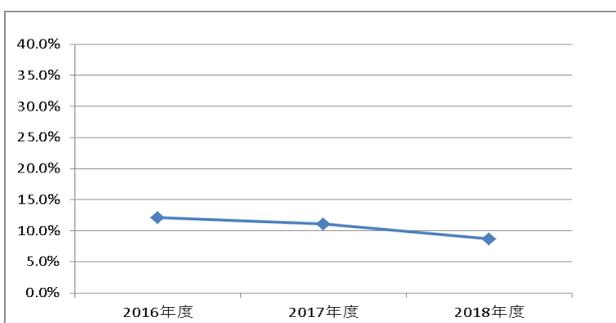
### < 投資信託メインファンド販売比率 >

特定カテゴリーの商品やテーマ型の商品が好調であったことにより全体としてメインファンド販売比率は低下しました。



### < 投資信託純資産残高に対する分配金の割合 >

毎月分配型以外の投資信託が増加し、純資産残高に占める分配金の割合は徐々に減少しております。

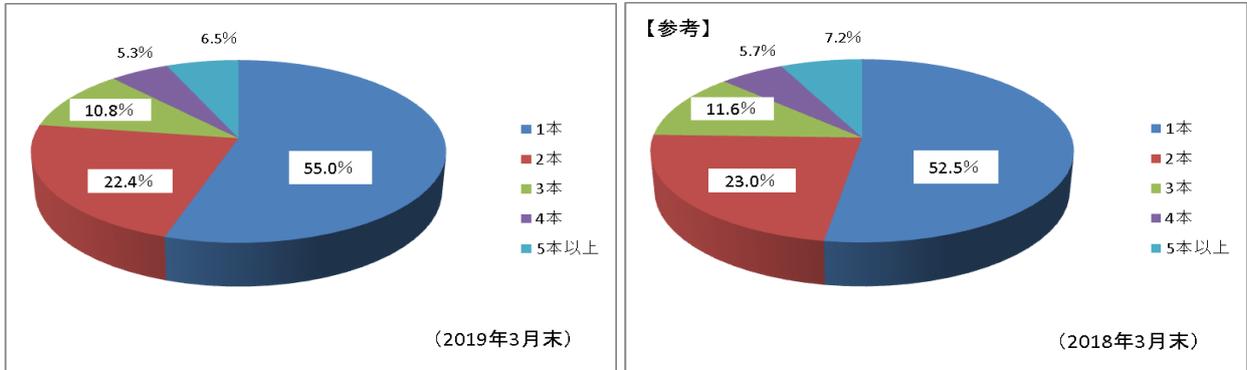


【メインファンド】当行取扱いファンドのうち、複数の資産に分散するファンド、低リスクで安定的な値動きのファンド、自動的に資産配分を見直す機能があるファンド等安定的な運用を目的とするファンドを指します。

### < 投資信託 複数銘柄保有顧客比率 >

投資信託を保有されているお客さまの保有銘柄数別の比率をお示しています。

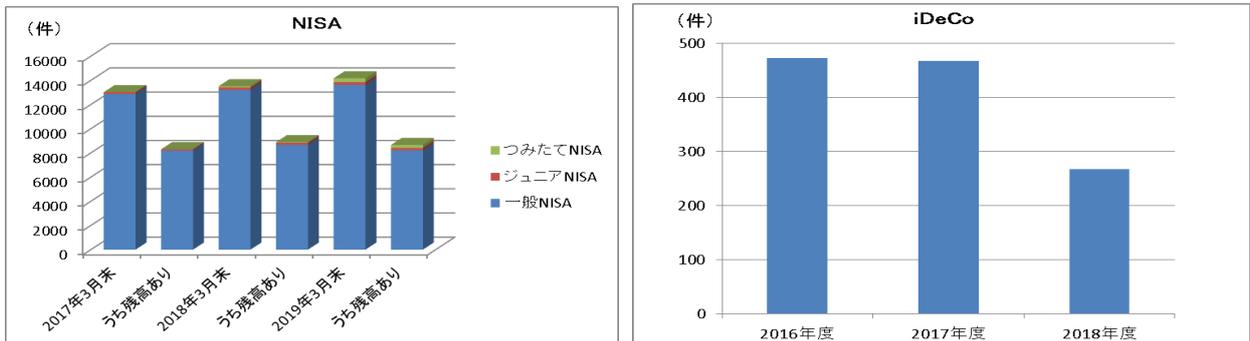
前年比ほぼ横ばいとなっておりますが、お客さまの安定的な資産形成に資するため、分散投資のご提案を推進いたします。



### < NISA 口座数推移 / iDeCo 受付件数 >

税制面の優遇がある制度として、NISA・DeCoを推奨しています。

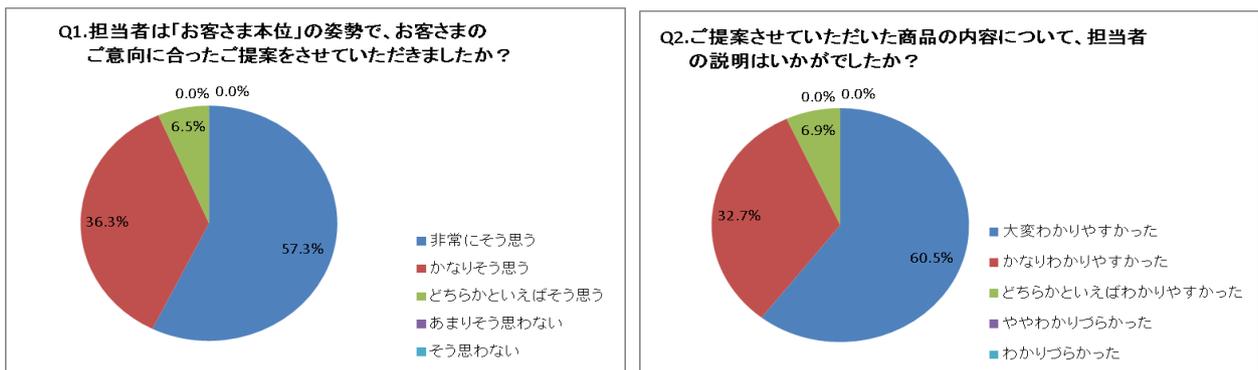
NISAについては、着実に口座数が増加しております。DeCoについては引続き積極的に推奨しましたが、申込件数は大幅に減少しました。

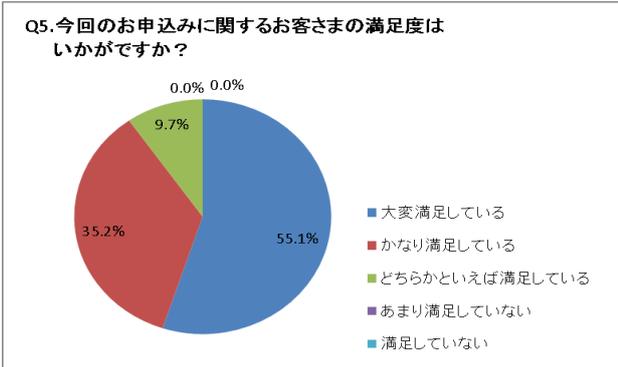
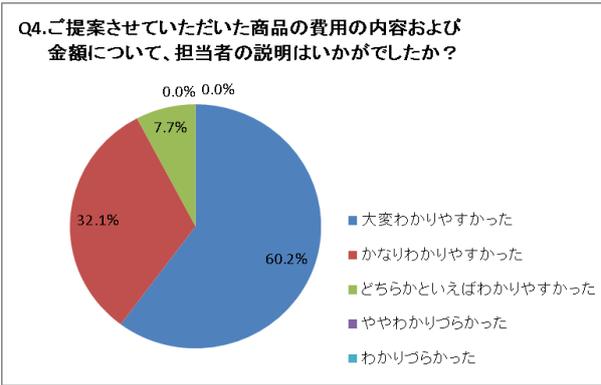
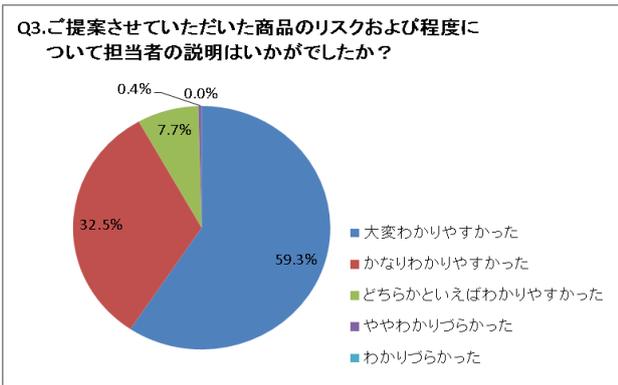


### < お客さまアンケート結果 >

当行の金融商品販売が「お客さま本位」であるかを検証するため、金融商品を購入していただいたお客さまにアンケートを実施しています。

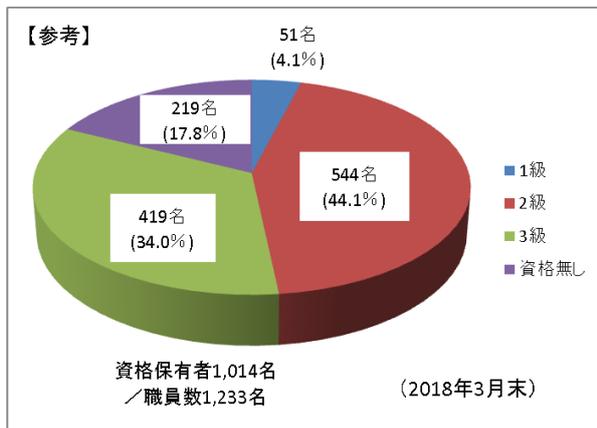
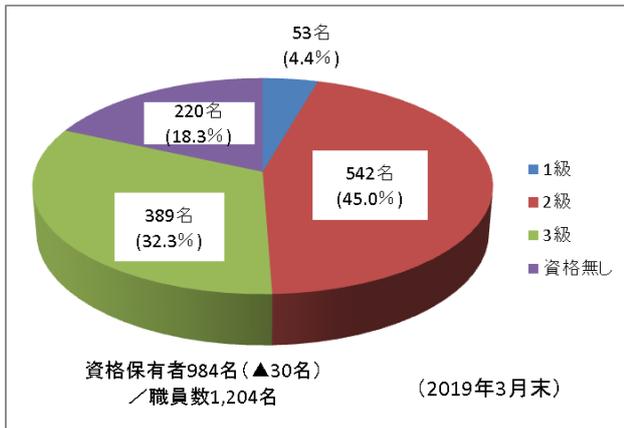
アンケート結果については概ね良好となっておりますが、お客さまに選ばれる銀行となるよう引続き「お客さま本位」の金融商品販売を実践いたします。





**<ファイナンシャルプランニング技能士 資格保有者数>**

より質の高い提案を行うため、職員のファイナンシャルプランニング技能士資格取得を推奨しています。資格保有者数については、高水準を維持しています。



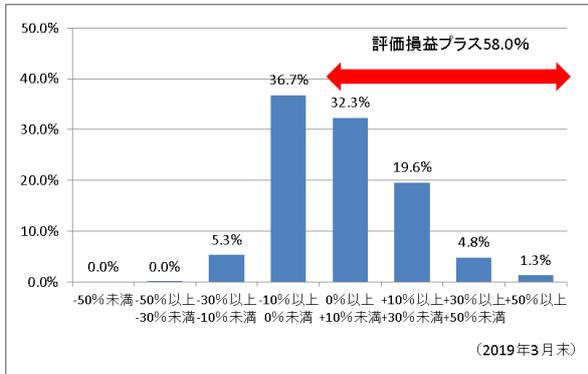
以 上

# 第三銀行 2018 年度の取組み

## 共通KPI

### < 投資信託の運用損益別顧客比率 >

お客さまにご購入いただいた投資信託の運用損益状況について、損益別のお客さまの比率をお示しています。投資信託の運用損益がプラスのお客さまは、全体の 58.0%です。

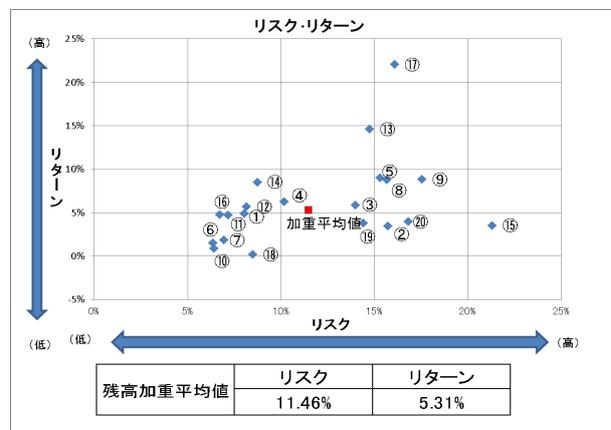
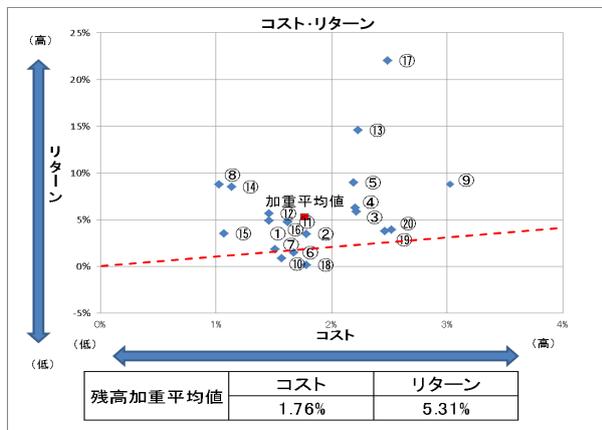


第三銀行ではファンドラップの取扱いはありません。

### < 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン / リスク・リターン >

お客さまにご購入いただいた投資信託の残高上位20銘柄について、コストに対するリターン、リスクに対するリターンをお示しています。

20銘柄中、17銘柄でリターンがコストを上回っております。リスク・リターンに関しては、銘柄によってばらつきがありますが、お客さまのニーズやリスク許容度、資金の性格等を踏まえた提案を行ってまいりました。



本共通KPIは、金融庁が公表した基準に基づき算出しております。

【対象銘柄】設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄(2019年3月末時点 / 対象銘柄は下に記載)

【コスト】基準日時点の販売手数料率(税込)の1/5と信託報酬率(同左)の合計値

【リスク】過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算) 【リターン】過去5年間のトータルリターン(年率換算)

ファンド名	コスト (%)	リスク (%)	リターン (%)	ファンド名	コスト (%)	リスク (%)	リターン (%)
財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型 【財産3分法】	1.46	8.05	4.90	三重県応援ファンド	1.62%	7.18	4.73
アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	1.78	15.73	3.46	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型 【世界の財産3分法ファンド】	1.46%	8.15	5.68
ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.21	13.99	5.87	ニッセイ健康応援ファンド	2.23%	14.74	14.60
野村インド債券ファンド(毎月分配型)	2.20	10.16	6.26	MHAM J-REIT インデックスファンド 【ビルオーナー】	1.13%	8.73	8.51
新光 US-REIT オープン 【ゼウス】	2.19	15.30	8.98	トヨタグループ株式ファンド	1.07%	21.31	3.52
グローバル・ソブリン・オープン(3ヶ月決算型)	1.67	6.35	1.49	MHAMトリニティオープン 【ファンド3兄弟】	1.62%	6.73	4.79
パン・パシフィック外国債券オープン	1.51	6.94	1.84	新成長株ファンド 【グローイング・カバース】	2.48%	16.08	22.04
MHAM株式インデックスファンド2225	1.03	15.68	8.75	MHAM豪ドル債券ファンド(毎月決算型)	1.78%	8.49	0.18
グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド 【健次】	3.02	17.56	8.81	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型) 【世界のかけ橋(毎月決算型)】	2.46%	14.40	3.79
ワールド・ソブリンインカム 【十二単衣】	1.57	6.42	0.88	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型) 【世界のベスト】	2.52%	16.82	3.95

## 自主的なKPI

### < 第三銀行ラインナップ >

お客様の多様なニーズにお応えできるよう、ラインナップの充実を図っております。

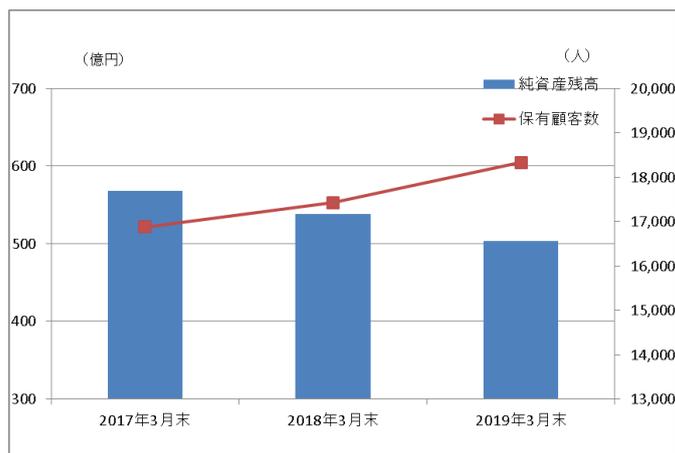
投資信託		取扱い本数
カテゴリー		
国内	債券	3
	株式	14
	REIT	2
	その他	0
海外	債券	17
	先進国	12
	新興国	3
	ハイイールド	2
	株式	26
	先進国	22
	新興国	4
REIT	4	
バランス		12
その他		10
合計		88

保険(個人向け)		取扱い本数
カテゴリー		
変額個人年金保険		3
	うち円貨	0
	うち外貨	3
定額個人年金保険		7
	うち円貨	2
	うち外貨	5
一時払終身保険		15
	うち円貨	4
	うち外貨	1
平準払終身保険		19
	うち円貨	3
	うち外貨	16
養老保険、変額保険		4
医療保険、介護保険		23
がん保険		9
学資保険		2
収入保障保険、定期保険		20
合計		102

個人向けのみ

### < 投資信託純資産残高・保有顧客数 >

お客様の安定的な資産形成をサポートできるように取り組んでまいりましたが、2019年3月末においては前年度末に比べて、純資産残高は減少した一方で、保有顧客数は増加しました。引き続き、お客様の資産形成のお役に立てるよう努めてまいります。なお、残高の減少は、主に市場の状況によるものです。



### <販売額上位ファンド>

毎月分配の長所短所を説明し、お客さまのニーズに適った投資信託を提案することにより、毎月分配型以外の商品が増えました。それとともにバランス型の商品(財産3分法ファンド)の販売額比率が上昇しました。

順位	2018年度実績	分配頻度	販売手数料率 (上限/税抜)	順位	【参考】2017年度実績	分配頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
1	財産3分法ファンド	毎月	2.0%	1	ジャパンロボティクス株式ファンド	年2回	3.0%
2	ニッセイ健康応援ファンド	年1回	3.0%	2	グローバルロボティクス株式ファンド	年2回	3.0%
3	アジア・オセアニア好配当成長株オープン	毎月	3.0%	3	財産3分法ファンド	毎月	2.0%
4	野村インド債券ファンド	毎月	3.0%	4	野村インド債券ファンド	毎月	3.0%
5	新成長株ファンド	年1回	3.0%	5	アジア・オセアニア好配当成長株オープン	毎月	3.0%
6	MHAM株式インデックスファンド225	年1回	2.0%	6	ワールド・リートオープン	毎月	2.5%
7	トヨタグループ株式ファンド	毎月	1.5%	7	US-REITオープン	毎月	2.5%
8	ジャパンロボティクス株式ファンド	年2回	3.0%	8	ジャパンロボティクス株式ファンド	年1回	3.0%
9	グローバルロボティクス株式ファンド	年1回	3.0%	9	グローバルロボティクス株式ファンド	年1回	3.0%
10	ワールド・リートオープン	毎月	2.5%	10	インベスコ世界厳選株式オープン	毎月	3.0%

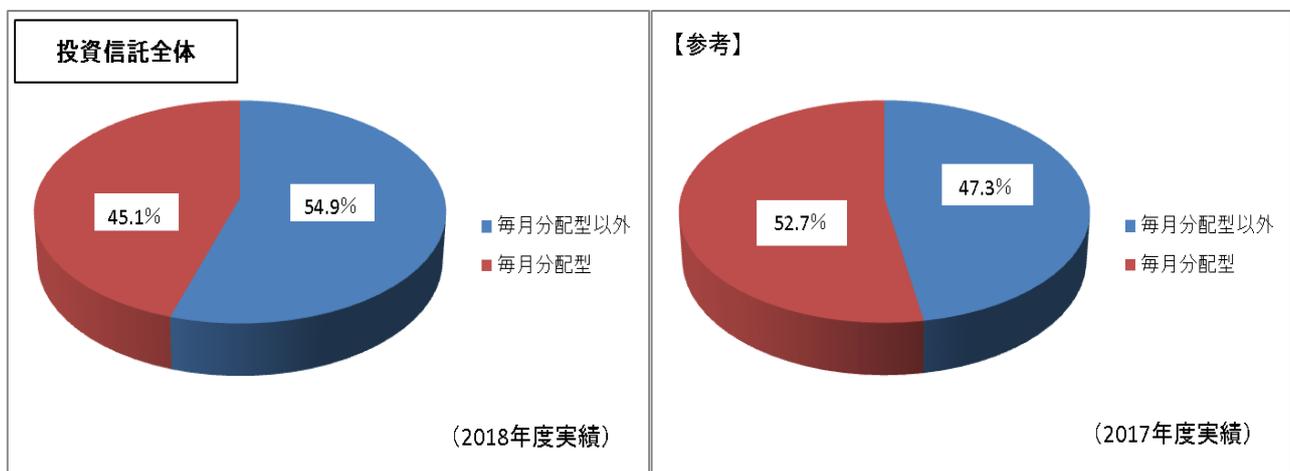
### <積立投資信託申込件数上位ファンド>

つみたて NISA を活用した積立投信を提案することにより、インデックス型ノーロードファンドの申込が上位にランクしました。

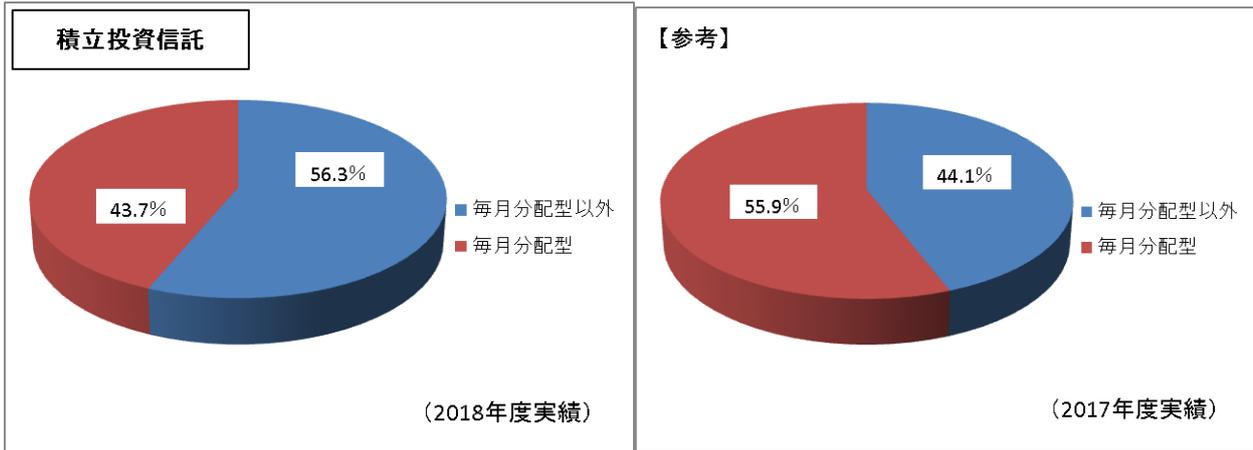
順位	2018年度実績	分配頻度	販売手数料率 (上限/税抜)	順位	【参考】2017年度実績	分配頻度	販売手数料率 (上限/税抜)
1	財産3分法ファンド	毎月	3.0%	1	財産3分法ファンド	毎月	3.0%
2	株式インデックス225	年1回	2.0%	2	株式インデックス225	年1回	2.0%
3	たわらノーロード 日経225	年1回	ノーロード	3	ワールド・リート・オープン	毎月	2.5%
4	たわらノーロード バランス(8資産均等型)	年1回	ノーロード	4	パン・パンフィック外国債券オープン	毎月	3.0%
5	ワールド・リート・オープン	毎月	2.5%	5	アジア・オセアニア好配当成長株オープン	毎月	3.0%
6	トレンド・アロケーション・オープン	年1回	2.0%	6	トレンド・アロケーション・オープン	年1回	2.0%
7	アジア・オセアニア好配当成長株オープン	毎月	3.0%	7	グローバルロボティクス株式ファンド	年2回	3.0%
8	パン・パンフィック外国債券オープン	毎月	3.0%	8	野村インド債券ファンド	年1回	3.0%
9	グローバルロボティクス株式ファンド	年2回	3.0%	9	ジャパンロボティクス株式ファンド	年2回	3.0%
10	ジャパンロボティクス株式ファンド	年2回	3.0%	10	US-REITオープン	毎月	2.5%

### <毎月分配型投資信託販売比率(金額ベース)>

中長期的な投資の提案や毎月分配についての説明を行う中で、毎月分配型以外の投資信託の販売比率が増加しました。

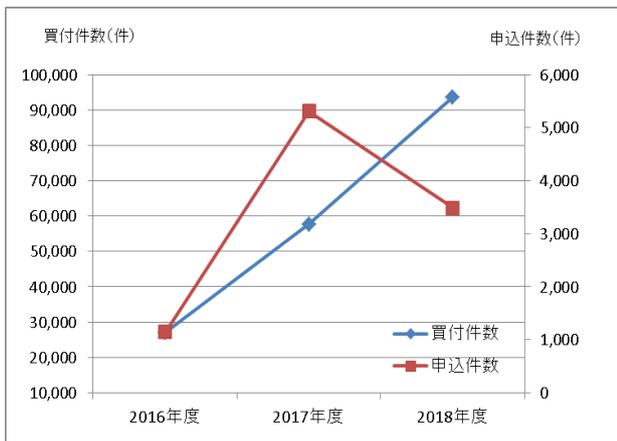


< 毎月分配型投資信託販売比率 うち積立投資信託 / 金額ベース >



< 積立投資信託 買付件数 / 申込件数 >

前年度に比べて新規申込件数は減少したものの、長期積立分散投資の提案に取り組んだことにより買付件数は増加しました。



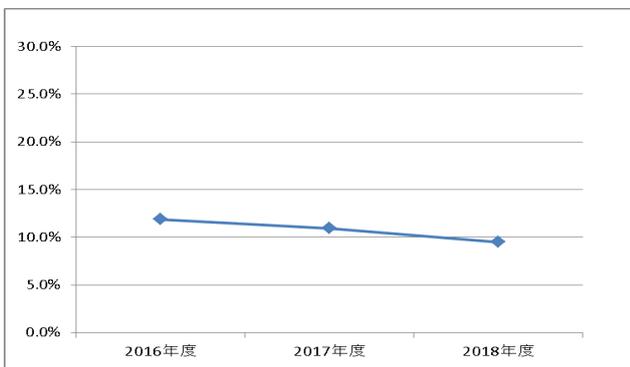
< 投資信託平均保有期間 >

積立投信を中心とした中長期的な投資を提案することにより、平均保有期間は、3.5年から4.6年に伸長しました。



< 投資信託純資産残高に対する分配金の割合 >

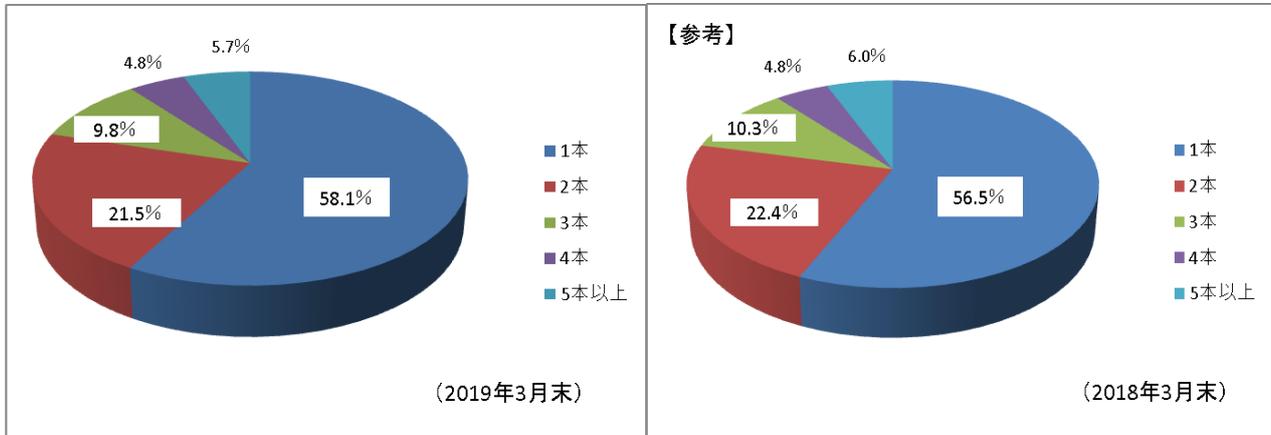
毎月分配型以外の投資信託が増加し、純資産残高に占める分配金の割合は徐々に減少しております。



### < 投資信託 複数銘柄保有顧客比率 >

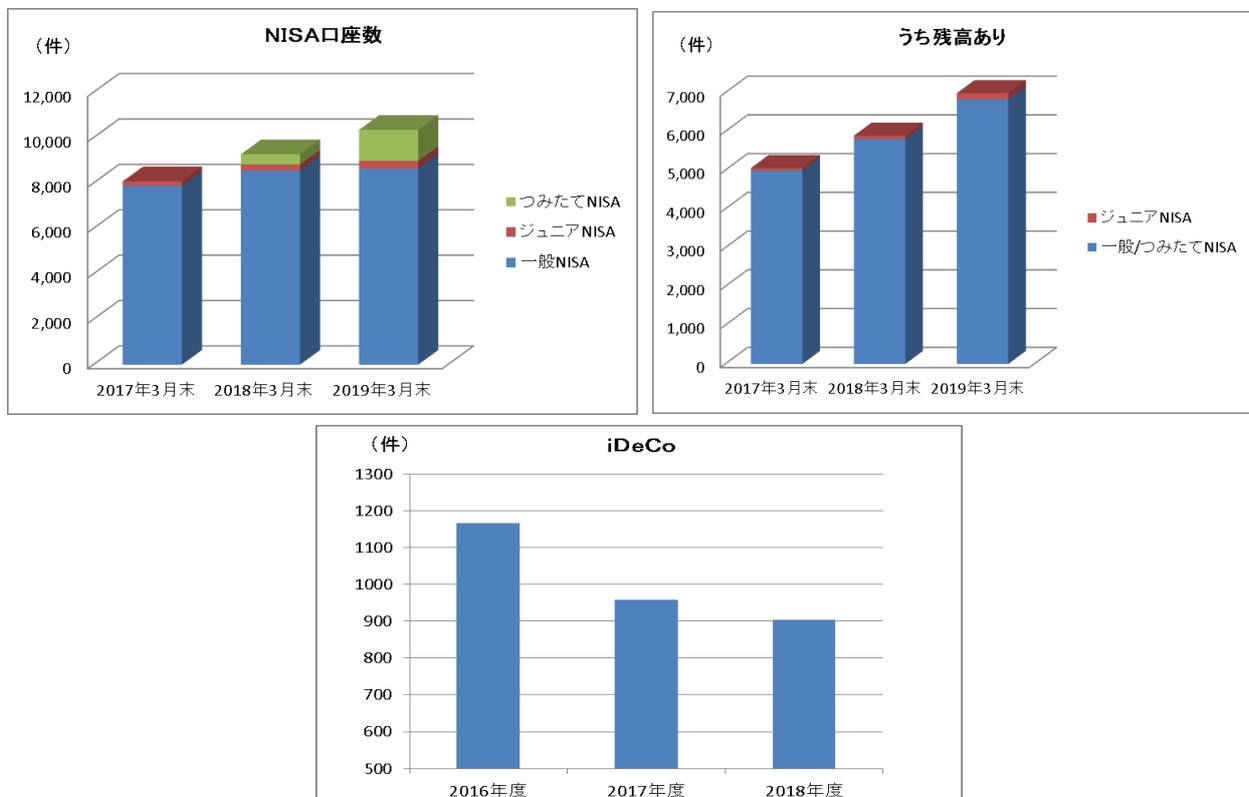
投資信託を保有されているお客さまの保有銘柄数別の比率をお示しています。

前年度に比べてほぼ横ばいとなっておりますが、お客さまの安定的な資産形成に資するため、引き続き分散投資のご提案を推進します。



### < NISA 口座数推移 / iDeCo 受付件数 >

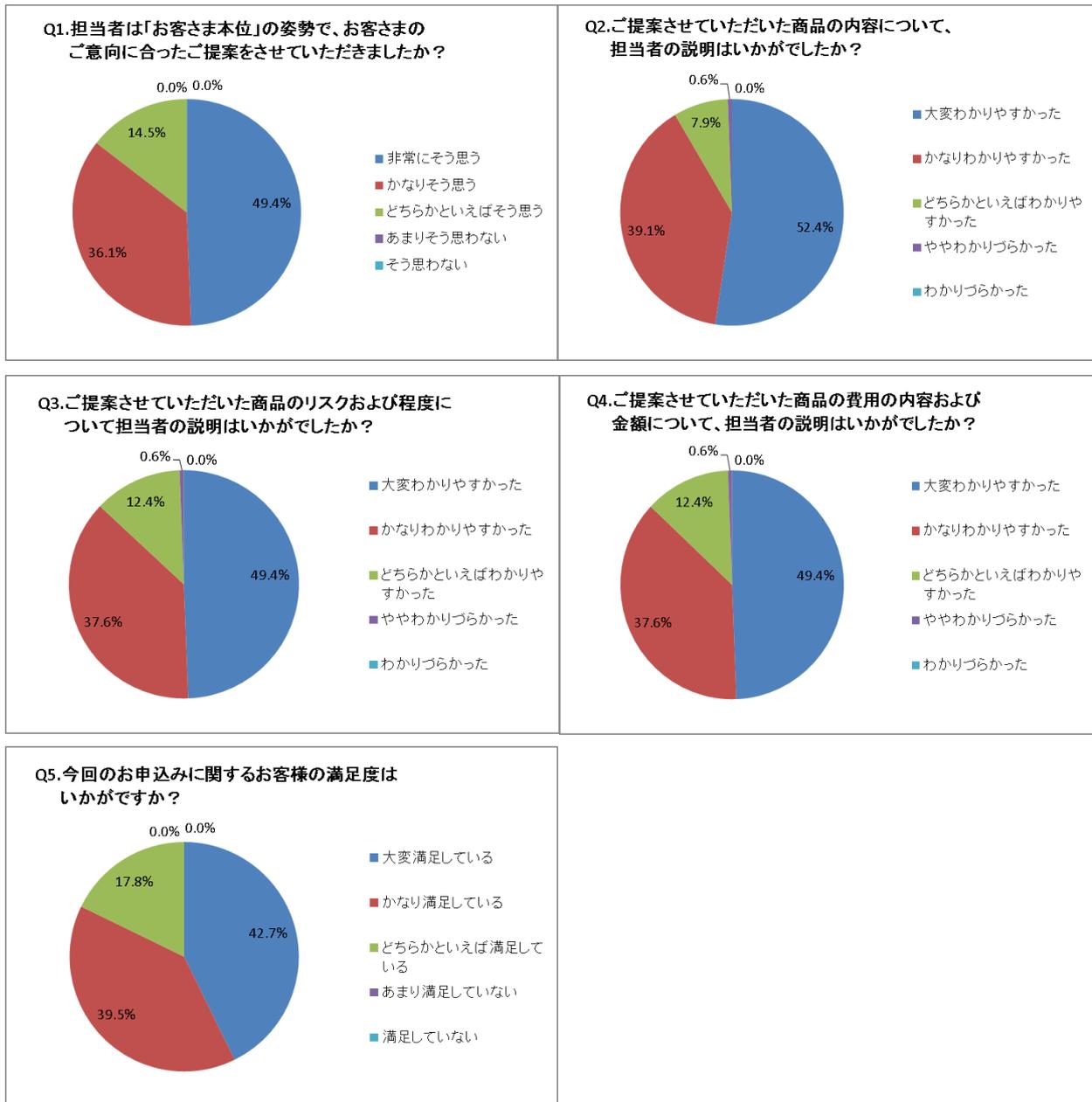
税制メリットを活用した中長期的な投資をご提案してまいりました。その結果、NISA については、着実に口座数が増加しております。iDeCo についても、ほぼ前年度並みの件数を受け付けいたしました。



### <お客さまアンケート結果>

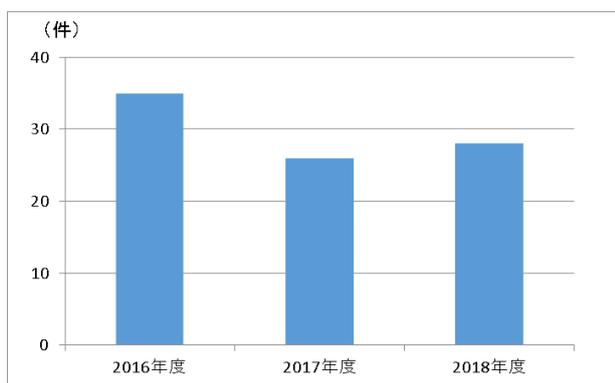
当行の金融商品販売が「お客さま本位」であるかを検証するため、金融商品を購入していただいたお客さまにアンケートを実施しています。

アンケート結果については、概ね良好ですが、お客さまに選ばれる銀行となれるよう引き続き「お客さま本位」の金融商品販売を実践いたします。



### <資産運用セミナー開催実績>

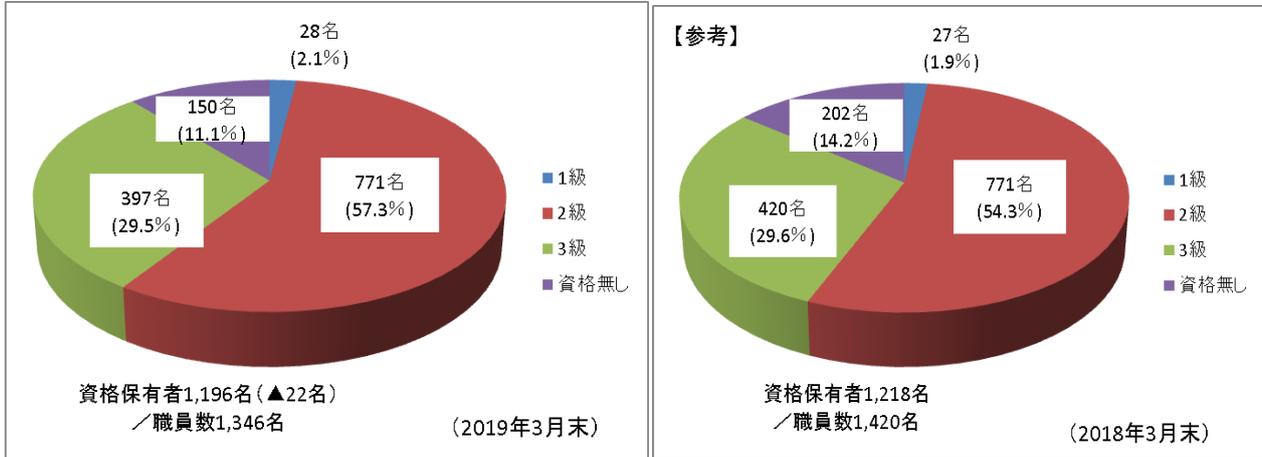
お客さまに、金融市場の状況などの情報提供を行うことで、安定的な資産形成のお役に立ていただくことを目的として、お客さま向けに資産運用セミナーを実施いたしました。



<ファイナンシャルプランニング技能士 資格保有者数>

お客さまへのさまざまなご提案の質を向上させていくために、職員に対してファイナンシャルプランニング技能士資格取得を推奨しています。

資格保有者数は、高水準(資格保有者の割合 88.9%、前年度比 3.1 ポイント上昇)を維持しています。



以 上